

スキー場まるごとDX化事業 in ニセコ東急グラン・ヒラフ

実証期間 2022(令和4)年10月～2023(令和5)年2月
 事業費 17,498千円(交付額 8,676千円)



目的

- コロナ禍で傷んだスキー場事業の経営をデジタルで革新
- NFT事業の拡充と多様化に向けた実証事業を実施
- レストラン内での密回避に向けた効果検証

背景・課題

- スキー場利用者の顧客情報と消費行動の紐付けがなされていない
- コロナ禍で集客が減ったスキー場で従来とは異なるキャッシュポイント創出が必要
- デジタルを活用した多言語対応

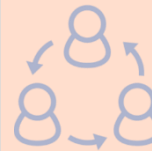
事業のポイント

- ✓ 国内初のスキー場でのNFT事業
- ✓ 柔軟な期間設定での発券と安価な価格設定が可能
- ✓ 転売可能なチケット販売に加え、新たな事業価値等の創出が可能

期待される効果

- ✓ NFTの販売における商品と価格のバランスや収支算定の参考となるデータの取得が可能
- ★ モバイルオーダーによるデータの取得と連携による分析
- ✓ 多言語対応による海外顧客への地元就業者の対応力向上と負担軽減

推進体制



- 東急不動産
- 東急リゾーツ&ステイ(株)
- (株) Hash Palette
- (株) アクアビットスパイラルズ
- 倶知安町

概要

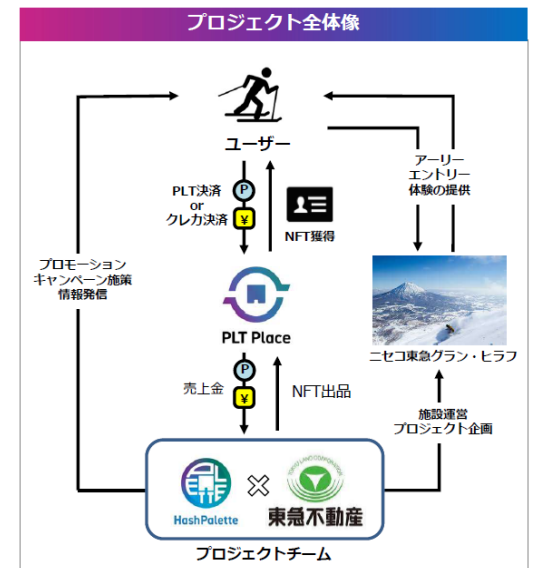
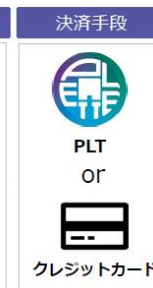
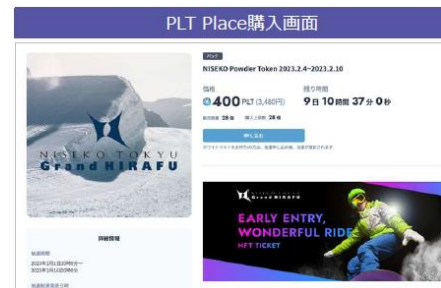
(NFTを活用したアーリーエントリーチケット)

NFTを活用することで「他リゾート地区との差別化となる新たな顧客体験の創出」や「値段の付いていなかった観光資源の価値の可視化」、「NFTの新規性を活かした新たなユーザー層の取り込み」「話題性の獲得」などを目的にNFTに刻まれた日付けにスキー場に先行入場し滑走できる「アーリーエントリー権」を付与。
 → 販売約190枚(2次流通含)、国内スキー場初の取組としてメディア露出多数



◀ プロジェクト特設サイト

購入画面イメージ ▶



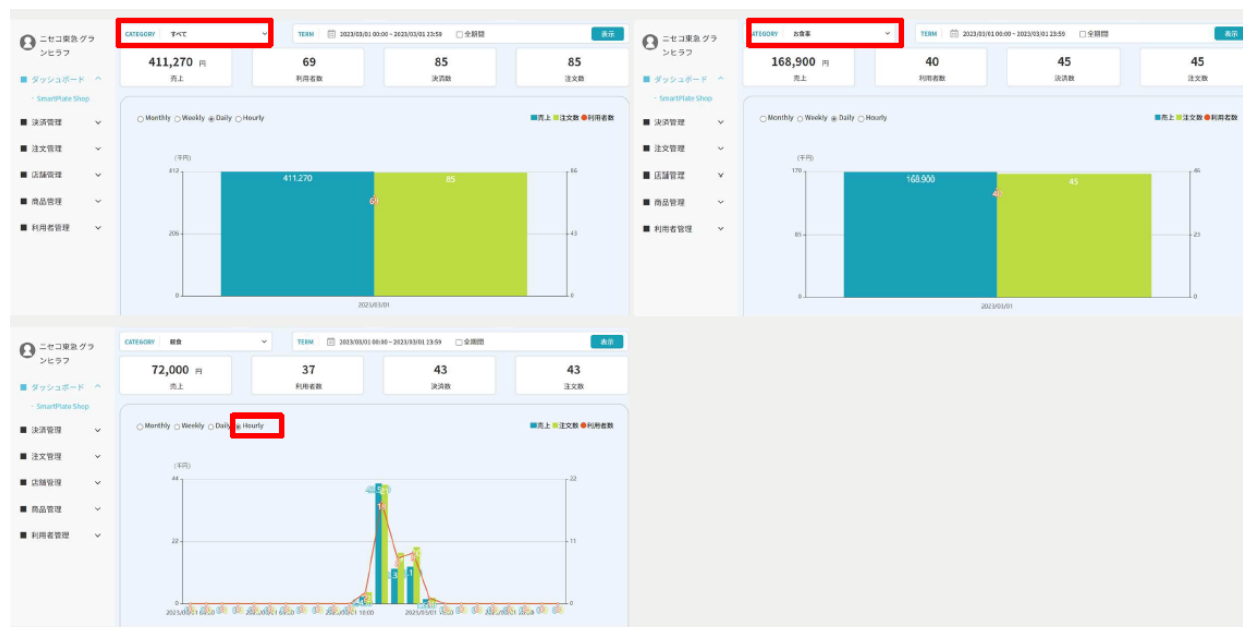
(モバイルオーダー事業)

モバイルオーダー導入によるスキー場利用者の属性情報と消費活動のデータ連携を可能とすることで、時間別の売れ筋商品の分析や英語圏利用者の比率、満足度などの分析を実施。また、オペレーションの変更も実施。

【導入メリット】

- ・従業員のリソース不足の中でも回転率の向上に寄与
- ・行列の回避に寄与
- ・売上カテゴリ別の売上金額の確認が容易
- ・外国人客の現金払いの円滑化やレジ担当の配置も不要
- ・食券不要のため、追加注文が容易で客単価の向上に寄与
- ・利用者、決済数、利用者数、時間帯別の注文状況の確認も含めた分析が可能

<売上分析>



<お客様誘導>



お問い合わせ 東急不動産株式会社
 ウェルネット事業ユニット ホテル・リゾート開発企画本部
 ホテル・リゾート第2部 開発企画G 白倉 弘規
 TEL 050-3377-4963
 E-Mail kohki_shirakura[アット]tokyu-land.co.jp

担当者より
 本補助事業で多くのご支援を賜り深謝します。引き続きゾート業のDXを推進し、新しい価値創造に挑戦してまいります。